新潟大学医歯学総合病院
看護師特定行為研修

募集要項
第８期生募集
（２０２７年度）

新潟大学医歯学総合病院

１．新潟大学医歯学総合病院における特定行為研修の教育理念

本院は、県下唯一の大学病院として「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します」を理念とし、豊かな人間性と高い倫理性を備えた質の高い医療人育成を目標に掲げています。

特定行為研修制度の意義は、包括指示による特定行為を“連続した看護実践”として提供できる人材を育成することであり、本研修を修了した看護師が、地域医療及び高度医療の現場で特定行為を含む“連続した看護実践”を展開し、医療の質の向上に貢献できるよう、本研修を推進します。

２．特定行為研修の目的・目標

特定行為研修の目的

地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を配慮しつつ、特定行為に必要な専門的な知識及び技術を教育し、高度な看護実践を通じて社会に貢献できる看護師を育成します。

特定行為研修の目標

１）特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
２）地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行うことができる能力を養う。
３）地域医療及び高度医療の現場において、患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施できる基礎的能力を養う。
４）地域医療及び高度医療の現場において、問題解決にむけて、多職種と効果的に協働できる能力を養う。

３．研修概要

特定行為研修は、すべての特定行為区分に共通する「共通科目」と各特定行為に必要とされる能力を身につけるための「区分別科目」に分かれており、講義・演習・実習によって行われます。区分別科目の受講は、共通科目の履修修了が条件となります。なお、「共通科目」及び「区分別科目」のいずれもｅ‐learning を中心とした講義を受講し、筆記試験に合格後、演習、実習へ進み、最終評価として観察評価を実施します。ｅ‐learning は自宅または自施設、新潟大学医歯学総合病院内での視聴が可能です。演習、実習は集合形式で実施します。

１）共通科目

共通科目	総時間数
臨床病態生理学	31 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	41 時間
医療安全学/特定行為実践	45 時間

2）領域別パッケージコース

No.	コース名	特定行為区分の名称	特定行為	研修時間
1	外科系基本領域パッケージ	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	中心静脈カテーテルの抜去	96 時間
		創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	
		創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	
		動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
		感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	
		術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
2	集中治療領域パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	76 時間
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	
		循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理	
		栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	
		動脈血液ガス分析関連	橈骨動脈ラインの確保	
		循環動態に係る薬物投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
3	NIIGATA - ICU パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	152 時間
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更、非侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整、人工呼吸器からの離脱	
		循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理、一時的ペースメーカリードの抜去 経皮的心肺補助装置の操作及び管理、大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正	
		血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	
		術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
		循環動態に係る薬物投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整、持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整、持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
		精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与、抗精神病薬の臨時の投与、抗不安薬の臨時の投与	
4	周術期麻酔管理領域パッケージ	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	70 時間
		呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更、人工呼吸器からの離脱、	
		動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
		術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	
		循環動態に係る薬物投与関連	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
5	NIIGATA -心臓血管外科パッケージ	循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理、一時的ペースメーカリードの抜去 経皮的心肺補助装置の操作及び管理、大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	67 時間
		心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去	
		胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更、胸腔ドレーンの抜去	
		栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
		創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	
		動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血、橈骨動脈ラインの確保	

※ 研修総時間数には評価時間・実習時間・シミュレータを用いた手技練習時間が含まれていません。実習時間は、履修する特定行為区分ごとに異なります。

※ 外科系基本、集中治療、周術期麻酔管理領域パッケージは、厚生労働省の領域別パッケージです。

※ NIIGATA-ICU パッケージは、「特定集中治療室管理料１及び2」「重症患者対応体制強化加算」「早期離床・リハビリテーション加算」の診療報酬に対応した項目が含まれています。

※ NIIGATA - 心臓血管外科パッケージは、新潟大学医歯学総合病院独自のパッケージです。

3）区分別科目

No.	特定行為区分の名称	特定行為	研修時間
6	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	9 時間
7	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	29 時間
8	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	8 時間
9	循環器関連	一時的ペースメーカの操作及び管理 一時的ペースメーカリードの抜去 経皮的心肺補助装置の操作及び管理 大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	20 時間
10	心嚢ドレーン管理関連	心嚢ドレーンの抜去	8 時間
11	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更 胸腔ドレーンの抜去	13 時間
12	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	8 時間
13	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	7 時間
14	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8 時間
15	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	34 時間
16	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	6 時間
17	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	13 時間
18	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	16 時間
19	感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与	29 時間
20	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16 時間
21	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8 時間
22	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	28 時間
23	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与 抗精神病薬の臨時の投与 抗不安薬の臨時の投与	26 時間

※　研修総時間数には評価時間・実習時間・シミュレータを用いた手技練習時間が含まれていません。実習時間は、履修する特定行為区分ごとに異なります。
※　栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連は、現在厚生労働省に申請中

4．修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

1）共通科目を全て履修し、筆記試験及び観察評価に合格すること。
2）共通科目修了後、選択した区分別科目を履修する。選択した区分別科目を履修後、筆記試験及び観察評価（一部の科目では実技試験）に合格すること。

なお、本研修の修了者には、保健師助産師看護師法第３７条の２第２項第１号に規定する特定行為及び同項第４号に規定する特定行為研修に関する省令（平成２７年厚生労働省令第３３号）に基づき、特定修了した特定区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

５．履修内容の読み替え

専門看護師教育課程、認定看護師教育課程、看護師特定行為研修、その他大学院等で既に履修した共通科目の授業や時間数の取り扱い並びに受講時間数に関しては、関連する科目の受講に当たり新潟大学医歯学総合病院看護師特定行為研修管理委員会が本研修の教育内容に相当すると判断された場合に限り考慮します。

６．研修期間

令和９年４月～令和１０年３月（１年）

※　在籍期間の延長について

実習症例数（各特定行為毎に５症例）に満たなかった場合など、新潟大学医歯学総合病院看護師特定行為研修管理委員会で検討し、研修期間を最大３年に延長することができます。

7．定員

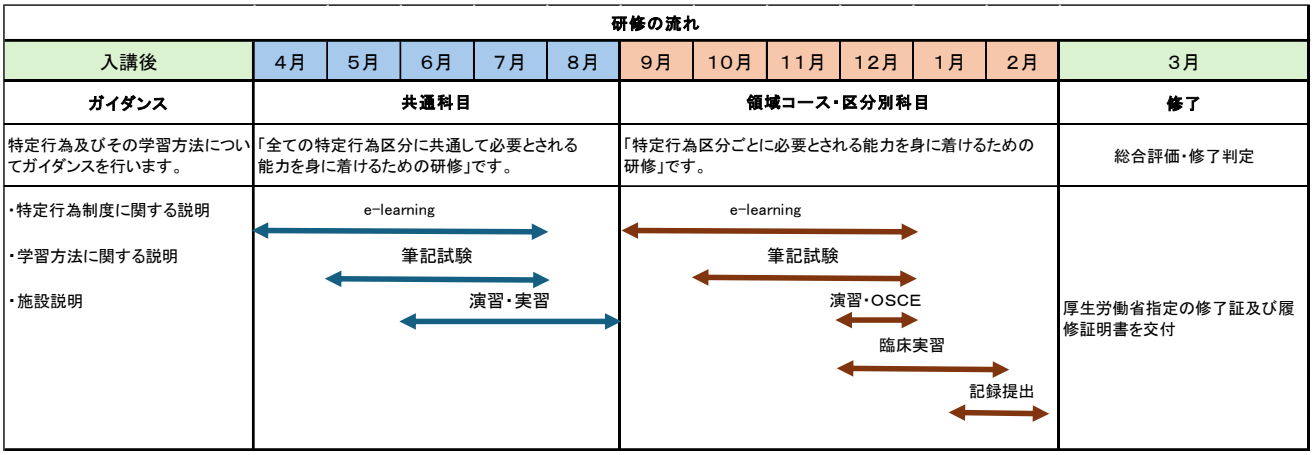
定員２０名（各特定行為区分及び各領域別パッケージコース１～２名程度）

※　受講可能な区分数と定員について

領域別パッケージコースは、いずれか一領域の受講とします。なお、追加で区分別科目受講を希望する場合は新潟大学医歯学総合病院看護師特定行為研修管理委員会において審議し、可否を決定します。

８．研修の流れ

本研修はｅ‐learning を中心とした講義、演習、実習により行われます。一部、対面で講義を行う場合があります。共通科目を修得後に区分別科目の受講を開始します。また、演習および実習は集合型研修となります



９．協力施設について

必要な臨地実習について、研修生の所属する施設で行っていただくことを推奨しています。自施設の指導医と連携し安全に実践活動を行う基盤を作るためです。施設での実習が可能な場合、厚生労働省に協力施設として申請し、かつ当院と協力施設としての契約が必要です。なお、協力施設の申請に関しまして、当院総合臨床研修係で支援いたします。

１０．募集期間

令和８年１１月１１日（水）～　令和９年１月８日（金）必着

１１．受講資格

１）日本国内において看護師資格を有すること。

２）看護師の免許取得後、通算５年以上の実務経験を有すること。

3）原則として、所属施設において特定行為の実践・協力が得られ、所属長（看護部長あるいは同等職位の所属長）の推薦を有すること。
4）本院の特定行為研修を修了した後に、特定行為を通じて医療の発展および社会に貢献する意欲があること。
※　区分別科目 No.20「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」を選択する場合は、日本糖尿病療養指導士や地域糖尿病療養指導士の資格取得者（または過去に糖尿病療養指導士の資格を取得した者）に限ります。

１２．出願手続き

【募集要項・出願提出書類請求方法】

※　新潟大学医歯学総合病院看護部ホームページ「新潟大学医歯学総合病院 看護師特定行為研修募集要項」から必要書類をダウンロードしてください。

【ホームページ】　URL：https://www.med.niigata-u.ac.jp/nrs/forvisitor/guideline

【出願提出書類】

1）入講願書　　（別記様式１）
2）履歴書　　（別記様式２）
3）入講志願理由書（別記様式３）
4）推薦書　　（別記様式４）
5）職務経歴書　　（別記様式５）
通算して５年以上の看護師の実務経験を有していることを証明できる全てのもの
6）看護師免許証の写し（Ａ４サイズで印刷し提出してください）
7）認定看護師、専門看護師の資格を所有する者や特定行為看護師は、認定証や修了証の写し＊該当者のみ
8）既修得科目履修免除申請書（別記様式１０）＊該当者のみ
履修免除を申請する者は、修了した研修の内容がわかる、履修時のシラバスを同封すること
9）「日本糖尿病療養指導士」認定証の写し　＊該当者のみ
10）臨地実習承諾書及び自施設実習症例確認チェックリスト
11）受講審査料の払込受領証のコピー

１３．出願書類提出方法

【送付先】〒951-8520　新潟市中央区旭町通１番町 754 番地

新潟大学医歯学総合病院　総務課総合臨床研修係
TEL：025-227-2250
※　必ず封筒表に「特定行為研修志願書　在中」と朱書きの上、簡易書留で郵送してください。

１４．受講審査料

料金　１０，０００円

【振込先】銀行名：第四北越銀行　支店名：白山支店
口座種別：普通　口座番号：1577596
フリガナ：ダイ．ニイガタダイガク
口座名義：国立大学法人新潟大学学長　染矢 俊幸

※　出願期間中に上記の振込先に振り込むこと。その際は申請者氏名がわかるよう依頼者欄に記載すること。
※　受講審査料の払込受領証のコピー１枚を、出願書類とともに送付すること。
※　受講審査料の振込手数料は申請者の負担となります。

１５．選考方法

書類選考により行います。選考結果については、本人宛に郵送します。
電話やＦＡＸでの合否の問い合わせには応じられません。

１６．受講手続

受講手続きについては、選考終了後、受講決定者にご案内をいたします。
受講料（消費税込み）については、案内に基づき、振込み願います。
なお、振込手数料は受講者の負担となります。
受講料の納付をもって、受講手続きを終了したとみなします。
受講料は、共通科目と許可された領域コース・区分別科目の合計金額となります。

１７．受講料

１）共通科目（必須）

共通科目	受講料（消費税込）
臨床病態生理学 臨床推論 フィジカルアセスメント 臨床薬理学 疾病・臨床病態概論 医療安全学/特定行為実践	440，000円

２）領域コース

コースNo.	領域別パッケージコース	受講料（消費税込）
1	外科系基本領域パッケージ	299，200円
2	集中治療領域パッケージ	321，300円
3	NIIGATA-ICU パッケージ	855，300円
4	周術期麻酔管理領域パッケージ	255，900円
5	NIIGATA-心臓血管外科パッケージ	437，500円

※　一旦納めた受講料は原則として返還しません。
※　研修のための宿泊および交通費等は
　　実費負担となります。

３）区分別科目

コースNo.	区分別科目	受講料（消費税込）
6	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	61，800円
7	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	175，600円
8	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	60，700円
9	循環器関連	132，200円
10	心嚢ドレーン管理関連	71，900円
11.	胸腔ドレーン管理関連	119，400円
12	腹腔ドレーン管理関連	64，800円
13	栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	82，100円
14	栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	91，300円
15	創傷管理関連	199，600円
16	創部ドレーン管理関連	57，800円
17	動脈血液ガス分析関連	120，400円
18	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	94，000円
19	感染に係る薬剤投与関連	126，800円
20	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	88，500円
21	術後疼痛管理関連	83，900円
22	循環動態に係る薬剤投与関連	241，500円
23	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	178，400円

１８．個人情報の取扱いについて

新潟大学医歯学総合病院では「個人情報に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願及び受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、審査書類・合格発表・受講手続・履修関係等の必要な業務において使用させて頂きます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供する事はありません。

１９．その他

１）研修期間中において、損害賠償責任保険の加入が必要となります。
２）本院での研修は、一部 e-learning となるため各自パソコンを準備してください。
３）本院の看護師特定行為研修は２０２２年４月より「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」の指定を受けております。詳細につきましては、厚生労働省：教育訓練給付制度の HP 若しくは最寄りのハローワークにご確認下さい。
（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html）